

# 松山高と地元スーパーコラボ

## 弁当「千歳の松」好評

### 生徒のアイデア満載

松山高家政科調理コースの2年生と総菜や弁当が人気のスーパー、全日食チェーン「マルフジ」(大崎市松山千石、佐藤厚店長)がコラボレーションした弁当「千歳の松」がこのほど完成し、好評を博している。

松山地域では旧町時代から、1人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に地元ボランティアが弁当を作ったり、配達したりする配食サービスを行ってきたが、昨年3月で終了。調理

には長年、同校家政科の生徒も協力してきた。そこで、ボランティアと高校生のつながりの場を提供しよう

と、大崎市社会福祉協議会松山支所(伊藤尊則支所長)が企画した。企画を快諾した同校は、昨年夏にレシピ作りをスタート。同店の利用客は生徒たちの親世代が多いことから、「親世代に向けた弁当」をテーマに、生徒9人が考案した。生徒たちは実際に調理し、試食したレシピを同店に提

供。同店は主菜や副菜はそのままに、少々アレンジを加えて販売を実現させた。

完成した弁当は、五目炊き込みごはん、揚げないコロッケ、ササミの揚げ物、ホウレンソウとニンジンのだし巻き卵、野菜の塩炒め、リンゴきんとんの6品。彩りを工夫したほか、アレルギーにも配慮するなど高校生のアイデアがたっぷり詰まっていた。価格は税込み800円。受注販売している。



った弁当に仕上がった。名称の「千歳の松」は長寿を表す言葉で、

同校校歌の歌詞から引用した。調理コースの新田結

斗さん(17)は、だし巻き卵とリンゴきんとんを考案。だし巻き卵は彩りを意識して考えたといい、「アイデアや思いが詰まった弁当が実現できてうれしい。僕たちやお店が作った気持ちも一緒に届けられれば」とほほ笑んだ。

同店は「初めての取り組みで手探りだったが、専門的に勉強している生徒さんのレシピは参考になることが多かった。今後も続けていければ」と感心していた。

価格は税込み800円。受注販売している。

2024(令和6)年2月14日付

『大崎タイムス』より転載

※著作権者の許諾を頂き転載しています。